

2020（令和2）年度

大田区家庭・地域教育力向上支援事業の記録



大田区教育委員会

※新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、実施しました。

1. おおた・ふぼれんネットワーク

発達障害って、どんなこと？わが子の発達が気になる親たちの勉強会

<内容>

「発達障害」とはどんなことなのか、そのメカニズムを学び、「生きづらさをかかえている子どもたち」に対する理解を深める。また、不安を抱えている親たちに、学校では、実際に「困っている子」たちはどのような支援が受けられるのか学ぶ。

<参加者の感想>

- ・とても勉強になりました。
- ・サポートルームのことがよくわかった。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月21日（日） 10:00～12:00	「発達障害って、どんなこと？～わが子の発達が気になる親たちの勉強会～」 講師 上原芳枝（リソースセンタ one 代表理事）
	入新井集会室	参加者数 52名（内訳） 会員 7名・ 会員以外 45名
2	2月21日（日） 13:30～14:30	「特別支援教室について～サポートルームの概要説明～」 講師 大田区教育委員会 特別支援教育担当
	入新井集会室	参加者数 34名（内訳） 会員 7名・ 会員以外 27名

2. おおた子育て親育ての会

「赤ちゃんはどこから？」と訊かれたら～幼少期の子どもに伝える性のおはなしを学ぼう～

<内容>

「赤ちゃんはどこから生まれてくるの？」と幼少期の子どもに聞かれたときに、どのように伝えたらよいかを学ぶ。助産師の講師による、自分のからだを大切にするための「子どもに語りかける性のおはなし」を通して、子どもとの信頼関係づくりの重要性を学ぶ。

<参加者の感想>

- ・子どもが自分の性を大事にすることはもちろんのこと、親が子どもの性やプライベートを尊重するという視点が新たに知り、自分が見失いがちになるということに気づいた。
- ・LGBTの説明があったことが時代の変化を感じました。これからの子どもたちには大切なことだと思うので、語ってもらえたことがよかったです。

・子どもにわかりやすく、大人の私もあ～そうなんだって事もありました。性教育というと、恥ずかしいなど大人もどう話していいかわからないことも多いので、第三者の方から教えていただける場はとても大事だと思いました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	3月7日（日） 13:30～14:30	「赤ちゃんはどこから？」と訊かれたら 講師 江上 いずみ(麻の未助産所助産師/NPO 法人ピッコラーレ副代表)
	入新井集会室	参加者数 144 名 （内訳） 会員 31 名 ・ 会員以外 113 名